

まちづくり

少子高齢化が進む中で、地域のあり方も変わっています。これからのもちづくりや住民自治はどうあつたらいいんでしょう。

町長

一少子高齢化が進む中で、地域のあり方も変わっています。これからのもちづくりや住民自治はどうあつたらいいんでしょう。

そういう中で、できるだけ地域で解決できる課題はね、地域で解決できるような体制を作つていくことが大事かなと思っています。

地域の皆さんと歩調を合わせないけんかつたり、自分一人じやどうしようもできないことは、自治会や行政に任せないけんもある。集落でできることは、集落でやりま

音のところなんですね。厳しい財政を、行政も住民も必要だと思います。地域で暮らしていくためには、自分の家だけ良かつたらそれでええいうわけにはならんですだけ。子どもができたりするとなおのことね。自分一人じや暮らせない。

特に職員のみなさんに給料が払われるつて批判もあるわけですね。行財政改革の中でスリム化や職員待遇にメスを当てないけん部分もあるし、議員にもあるかもしれません。住民が受ける補助金なども当然見直していかない

音のところなんですね。厳しい財政を、行政も住民も必要だと思います。地域で暮らしていくためには、自分の家だけ良かつたらそれでええいうわけにはならんですだけ。子どもができたりするとなおのことね。自分一人じや暮らせない。

やつたらいいのか、個人の役割としてやつたがいのか、そこら辺のところをコストも含めて、考えてみなくちゃいけないんじやないかなと思つてます。

世帯も増えて来ているが、やっぱり再点検や見直しも必要だと思います。地域で暮らしていくためには、自分の家だけ良かつたらそれでええいうわけにはならんですだけ。子どもができたりするとなおのことね。自分一人じや暮らせない。

特に職員のみなさんに給料が払われるつて批判もあるわけですね。行財政改革の中でスリム化や職員待遇にメスを当てないけん部分もあるし、議員にもあるかもしれません。住民が受ける補助金なども当然見直していかない

音のところなんですね。厳しい財政を、行政も住民も必要だと思います。地域で暮らしていくためには、自分の家だけ良かつたらそれでええいうわけにはならんですだけ。子どもができたりするとなおのことね。自分一人じや暮らせない。

世帯も増えて来ているが、やっぱり再点検や見直しも必要だと思います。地域で暮らしていくためには、自分の家だけ良かつたらそれでええいうわけにはならんですだけ。子どもができたりするとなおのことね。自分一人じや暮らせない。

西尾 寿博 広報委員長

そういう中で、できるだけ地域で解決できる課題はね、地域で解決できるような体制を作つていくことが大事かなと思っています。

田舎にはね、横のつながりが、まだ残つていますからね。その良さにもう一度氣づいて、それをみんなでもう一度、地域の強い絆を作つていくと、いう仕掛けができると思うんです。

今町長が言われたように、集落近辺の町道だつたら、「草刈りは集落でしましようや」とか、簡単な補修なら、「材料は町で出してさせ。あとは集落でやりますから」とかね。行政と住民が、互いに協力していく。地域社会にとつて、そういう取り組みがこれから一番重要なつてくらへんかなと思いますね。

そういうことを町民の皆さんにも考えてもらひながら、税金の使い途について、我々議員もしっかりと目を見張らないけん。町長はじめ執行部の方々も、今まで以上に自分の身を切るつもりで駄馬を省いていく。厳しいことですが、やつぱりその辺は誰もが目を向けて、メスを入れないけれども、やつぱり思ひますね。

合併して、大山恵みの里構想や、教育改革など、限られた予算で様々な改革をしていかなければなりません。町長も住民に良い顔ばかりしているわけにもいかんし、苦労も多いと思います。

我々議会も、開かれた議会を目指しながら、大山町の発展と共に取り組んでいきたいと思います。

行政の役割をもう一度し合つて、行政がやつたらしいのか、住民の方で

近年、集落に属さない

大山町も財政が厳しく合併したというのが本

町長

豊かな町3つが一緒に合併したわけではないです

し、自主財源を十分にもつてゐる町ではないわけですからね。財政的には、今の国状況を見る限り、よくなるという見通しは難しいでしよう。

